

本物の「商品開発力」を身につける!



やまなしモノづくり デザイン塾 2010

参加者
募集!

山梨県工業技術センターでは、中小企業のモノづくりを支える高度人材育成を目的に、商品開発の総合的な実務能力を養成する「やまなしモノづくりデザイン塾」を開講します。

座学だけでなく、演習やグループワークを交えて商品開発に役立つ実践的な能力を身につける連続講座です。

皆さまご参加をお待ちしております。

企画発想	【実践コース・A】	10月15日(金) - 11月5日(金)	受講料
	企画発想力の強化	[全5回/5日間]	3,000円
	消費者に支持される商品を開発していくためには、柔軟な発想と創造力が重要になってきます。本コースでは、消費者の心をつかみ企業価値を高めるデザインや新しいものづくりに必要な視点について学びます。		定員 20名
地域ブランド	【実践コース・B】	11月18日(木) - 1月13日(木)	受講料
	地域ブランド力の強化	[全5回/5日間]	3,000円
	地域の特徴を活かしたものづくりを行うためには、地域の知と技の連携が必要不可欠になります。本コースでは、地域産業のブランディング事例などを中心に開発から販売までの成功プロセスについて学びます。		定員 20名
マーケティング	【実践コース・C】	1月25日(火) - 2月23日(水)	受講料
	マーケティング力の強化	[全5回/5日間]	3,000円
	商品を確実に消費者まで届けるためには、適切な市場を開拓するマーケティングが重要となります。本コースでは“売れる”商品開発に必要なポイントから効果的な商品ディスプレイまで演習を通して学びます。		定員 20名

対象者 山梨県内で下記の業務に携わる方
企業経営者、デザイナー、商品企画、製品設計、
マーケティング担当者 等

会場 山梨県工業技術センター
高度棟2階 共同研究エリア3
[〒400-0055 甲府市大津町2094]

お問合せ 山梨県工業技術センター デザイン技術部
TEL:055-243-6101 FAX:055-243-6102
mail:dc@yitc.go.jp

各コースのスケジュール・詳細は、中面をご覧ください。

昨年度
受講生の
感想

- どの講師の方々も、とても分かり易い説明でした。また、今後会社で実際に取り入れたい内容も多く、役立つ内容で良かったです。
- とても分かりやすく説明していただき、楽しく講義を受ける事ができました。今回学んだことを、即実践します。
- ブランディングの大切さが分かり、戦略的に進める意味も分かりました。ブランドを育て、資産になっていくという点が印象に残りました。



【実践コース・A】〔全5回／5日間〕

企画発想力の強化

消費者に支持される商品を開発していくためには、柔軟な発想と創造力が重要になってきます。本コースでは、消費者の心をつかみ企業価値を高めるデザインや新しいものづくりに必要な視点について学びます。

新しいものづくりに必要な視点について学ぶ

定員 20名 受講料 3,000円

第1回	10月15日(金) 13:30pm-17:30pm 売れるデザインのしくみ ～デザインを資産として機能させる方法～	昨日までの正解デザインが「明日の正解デザイン」にはなりません。今、時代に求められているのは、宣伝のためのデザインではなく、機能や存在のためのデザインです。本講座では、デザインがそもそも持っている力や役割を正しく知った上で、「デザインの正解」を導き出し、ビジネスを助ける「売れるデザインのしくみ」について学びます。	講師 ウジ トモコ (株)ウジパブリシティー 代表取締役
第2回	10月21日(木) 13:30pm-17:30pm 創造型経営「デザインを活用したモノづくり」 ～技術や品質を武器にした経営から創造型経営の時代へ～	これからの企業経営は、「技術型」や「品質型」から「創造型」の時代になってきます。現在、成功している企業の多くはデザインの重要性を理解し、経営資源として捉えています。本講座では、Cupmen(カップメン)などユニークな生活用品を製造するアッシュココンセプトのモノづくり、企業と取り組んだ企業ブランディング、デザイン活用について学びます。	講師 名兒耶 秀美 アッシュココンセプト 代表取締役
第3回	10月29日(金) 13:30pm-17:30pm 社会貢献性のある商品づくり ～アイデアインターナショナルの社会貢献プロジェクト～	ライフスタイル商品を企画販売するアイデアインターナショナルでは、「社会貢献」を意識したビジネスを次々と展開して多くの成功事例をつくりあげています。本講座では、「当社に関わる全ての人々を幸せにしたい」との考えをもつ同社が、これまで実際に進めてきた社会貢献プロジェクトについて学びます。	講師 橋本 雅治 (株)アイデアインターナショナル 代表取締役
第4回	11月4日(木) 13:30pm-17:30pm 企業価値を高めるデザイン ～「感動」や「共感」という新たな価値の創出～	経済産業省では、2007年に「感性価値創造イニシアティブ」を発表し、機能や価格を超える魅力とは何なのか、その魅力を消費者にどのように伝えるかという観点から「感性価値」を推進しています。本講座では、「感動」や「共感」という新たな価値の創出により、企業価値を高めるデザインについて学びます。	講師 ムラタ チアキ (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
第5回	11月5日(金) 9:30am-12:30pm 「行為のデザイン」ワークショップ ～商品の隠れた問題点を見つけて正しいあり方を導き出す～	行為のデザインとは、「商品に対する常識の歪み(バグ)を見つけて正しいあり方を導き出すデザイン」のことをいいます。このバグを見つけるためには、商品に対して消費者が起こす行動の観察がとても重要となります。本講座では、実際の商品を事例にワークショップを行い、これらの方法について学びます。	METAPHYS 代表

●テーマと講演内容は予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●11月5日のワークショップは会場が「甲州勝沼ぶどうの丘(山梨県甲州市勝沼町菱山5093)」になります。

【実践コース・B】〔全5回／5日間〕

地域ブランド力の強化

地域の特徴を活かしたものづくりを行うためには、地域の知と技の連携が必要不可欠になります。本コースでは、地域産業のブランディング事例などを中心に開発から販売までの成功プロセスについて学びます。

地域の特徴を
活かしたものづく
りについて学ぶ

定員 20名 受講料 3,000円

第1回	11月18日(木) 13:30pm-17:30pm 地元の素材を活かした クールデザイン ～素材からのブランドデザイン～	高知県馬路村の杉間伐材を立体成形したプロダクト「monacca (モナッカ)」や、静岡県富士市のカラー紙バンドを再利用した「cuiora (キオラ)」は、地元の素材を活かした質の高いデザインで大変注目されています。本講座では、様々な地域の素材をビジネスに結びつけるまでのプロセスについて学びます。	講師 島村 卓実 (有) クルツ 代表取締役
第2回	12月3日(金) 13:30pm-17:30pm 地域産業発展のための デザイン ～地域産業発展を目的とした 商品開発事例と販路開拓～	新潟県の国際ブランド「百年物語」は、百年後も大切にしていきたい生活文化を創造していく道具を基本テーマに、地域産業の活性化も含めて企画され、海外においても大変高い評価を受けています。本講座では、これら地域産業発展を目的としたブランド立上げの背景や仕組み、活動の実体等について学びます。	講師 黒川 玲 (株) 黒川玲建築設計事務所 代表取締役
第3回	12月9日(木) 13:30pm-17:30pm 伝統工芸とデザインの コラボレーション「YOnoBI」 ～伝統工芸とデザインの いい関係から誕生したプロダクト～	道具は使われるからこそ美しい、その「用の美」からとったブランド「YOnoBI (よのび)」では、日本の伝統工芸の可能性を新たなカタチにし、世界中の人々に届けたいという想いがものづくりの出発点となっています。本講座では、伝統工芸とデザインのコラボレーションによる新しいプロダクトについて学びます。	講師 渡邊 真典 (有) クロスエッジ 代表取締役
第4回	12月22日(水) 13:30pm-17:30pm メイド・イン・ジャパン・ プロジェクトが目指すもの ～日本製品の販売を通じて 地域活性化を目指す～	メイド・イン・ジャパンプロジェクトは、産地やモノづくり企業のプロデュースをおこない、日本製品の良さを伝える「THE COVER NIPPON (ジカバー・ニッポン)」をはじめとしたリアルショップやネットショップを展開しています。本講座では、これらものづくりから新たなマーケット開拓等について学びます。	講師 赤瀬 浩成 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株) 代表取締役
第5回	1月13日(木) 13:30pm-17:30pm 職人さんと作り上げる プロダクト ～職人さんとデザイナーの 協業によるものづくり～	デザイナーのデザインワークで大切なことは、職人さんとの対話です。ものづくりの現場にいる職人さんと対話をしながら、自らの発想を具現化していくことが完成度の高いデザインにつながります。本講座では、職人さんとデザイナーとの協業によるものづくりと、それによる産地の意識の変革について学びます。	講師 塚本 カナエ Kanae Design Labo 代表

●テーマと講演内容は予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

【実践コース・C】〔全5回／5日間〕

マーケティング力の強化

商品を確実に消費者まで届けるためには、適切な市場を開拓するマーケティングが重要となります。本コースでは“売れる”商品開発に必要なポイントから効果的な商品ディスプレイまで演習を通して学びます。

“売れる”商品開発
に必要なポイント
等について学ぶ

定員 20名 受講料 3,000円

第1回	1月25日(火) 10:00am-12:00pm 13:00pm-16:00pm	「3×4商品開発プログラム」の解説後、開発課題とターゲットを設定し、グループで演習を行います。受講者が自らターゲットになりきり、「～したい」といった願望を発想します。また、願望をさらに深く読み込み、ターゲットの潜在ニーズを捉えた仮説案を作成するまでを、演習により体験的に学びます。	講師 馬場了 (株)クルー 代表取締役
	"売れる"商品開発演習・1 ～開発課題とターゲット設定～		
第2回	2月1日(火) 10:00am-12:00pm 13:00pm-16:00pm	前回作成した仮説案から具体的な商品アイデアを生むため、発想法の演習を行います。発想法の基本は「発散思考で量を出す」→「収束思考でまとめる」という流れです。アイデアは結合改善するもので、大量のアイデアを出すことが最も重要です。ここでは、発散思考系の発想法について演習を通じて学びます。	
	"売れる"商品開発演習・2 ～大量の商品アイデアを発想する方法～		
第3回	2月8日(火) 10:00am-12:00pm 13:00pm-16:00pm	大量に発想されたアイデアから魅力あるコンセプトを導くための手法として、BKマッピングの演習を行います。アイデアをターゲットの願望や思いでグルーピングし、より解釈を深めて収束させていくことで、商品案の絞り込みを行います。魅力的なコンセプトづくりを目標に、アイデアの収束プロセスについて学びます。	
	"売れる"商品開発演習・3 ～独自の商品コンセプトを構成する方法～		
第4回	2月15日(火) 10:00am-12:00pm 13:00pm-16:00pm	これまでの演習で得られた商品コンセプトをわかりやすい形で表すため、デザインスケッチを描くとともに、商品の個別アイデアを盛り込んだ企画書として完成させます。製品化に向けて開発関係者の共通の目標となるような企画書の作成について学び、グループごとにプレゼンテーションと評価を行います。	
	"売れる"商品開発演習・4 ～コンセプトを売れる商品案に仕上げる方法～		
第5回	2月23日(水) 10:00am-12:00pm 13:00pm-16:00pm	情報の80%は視覚から得ていると言われています。VMD(ビジュアルマーチャндаイジング)は、店頭での集客や売り上げ促進に有効な手段であることから、近年大変注目されています。本講座では、このVMDの有効性を明らかにし、記憶に残るディスプレイや商品演出の具体的な手法について学びます。	講師 土屋豊 ラポール 代表
	効果的な商品ディスプレイ と演出法 ～消費者の視覚に訴える効果的な ディスプレイと記憶に残る演出手法～		

●テーマと講演内容は予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●「やまなしモノづくりデザイン塾2010」講師プロフィール

実践コース・A

企画発想力の強化




●ウジトモコ(うじ・ともこ) 株式会社ウジパブリシティー 代表取締役

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。広告代理店および制作会社にて三菱電機、日清食品、服部セイコーなど大手企業のクリエイティブを担当後、1994年ウジパブリシティー設立。デザインを経営戦略として捉え、採用、販促、ブランディング等で飛躍的な効果をもたらす「視覚マーケティング」を提唱。ビジュアルディレクターとして数多くの企業の新規事業開発、事業転換期のデザイン戦略を立案。視覚戦略を駆使したパフォーマンスの高いクリエイティブに定評がある。視覚マーケティングを軸にしたノンデザイナー向けデザインセミナーも多数開催。著書に「視覚マーケティングのススメ」「視覚マーケティング実践講座」「売れるデザインのかみ」など。




●名見耶 秀美(なごや・ひでよし) アッシュコンCEPT 代表取締役

1958年東京都生まれ。武蔵野美術大学造形学部在学中、デンマーク人デザイナーのペア・シュメルシアに師事。株式会社高島屋宣伝部に入社。その後株式会社マナに入社。2002年、専務取締役を務めたマナを退社し、アッシュコンCEPTを設立。生活者とデザイナーがともに楽しめるものづくりをテーマに若手デザイナーとコラボレートし、デザイナーブランド「+d」を発信、世界販売に着手する。最初の商品「アニマルラバーバンド」がGマーク中小企業庁長官賞を受賞、以後Gマーク選定商品多数。海外デザインアワードIFゴールド、レッドドット賞受賞。デザイン・商品開発コンサルタントにも積極的に取り組んでいる。




●橋本 雅治(はしもと・まさはる) 株式会社アイデアインターナショナル 代表取締役

1961年大分県生まれ。1984年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。大学時代はパワーリフティング部に所属し、全日本学生チャンピオンとなる。その後キヤノン販売入社。戦略的な営業によりトップ営業を何度も獲得する。87年に父親が経営するホテル経営のため帰郷し、再建に尽力する。その後92年マルマン入社。時計事業部長、取締役を歴任。95年代表取締役社長としてアイデアインターナショナルを設立し、ライフスタイル商品(時計・文具・家電・雑貨・オーガニック商品等)の企画開発・販売をおこなっている。




●ムラタ チアキ(むらた・ちあき) 株式会社ハース実験デザイン研究所 代表取締役/METAPHYS 代表

1959年鳥取県境港市生まれ。1982年大阪市立大学工学部応用物理学科卒業後、三洋電機株式会社デザインセンター入社。1986年ハース実験デザイン研究所を設立、プロダクトを中心に広範囲なデザイン活動を行う。「行為のデザイン」というユーザー心理行動分析による商品デザイン開発の指導、実践。「デザイン経営ストラテジー」、「デザイン資産価値概念」など、デザインの果たす役割を大きく捉えたシステムを実践している。デザイン地域振興施策では、各企業のコア・コンピタンスを活かしながら、地域ベクトルを揃える地域型企業コンソーシアムのプロデュース、デザインを行うなど、戦略としてデザインを活用したプロデュース業務にも数多く携わっている。

実践コース・B

地域ブランド力の強化




●島村 卓実(しまむら・たくみ) 有限会社クルツ 代表取締役

プロダクトデザイナー。DOCOMOのPDA端末からカーデザインや観光バス等の輸送機関、小規模住宅やインテリア等の空間デザイン、家具やプロダクトデザイン等、幅広いジャンルでデザインを提案している。2003年に高知県馬路村と立体成型の杉間伐材シリーズ「monacca」を発表。以後素材や地域に注目してデザイン活動を進めている。2005年のMoMAでの販売に始まり、各国のデザイン展示会にも積極的に参加することでグローバルマーケットでのデザインビジネスを展開している。JDCA日本デザインコンサルタント協会理事、グッドデザイン賞受賞多数。




●黒川 玲(くろかわ・れい) 株式会社黒川玲建築設計事務所 代表取締役

日本女子大学住居学科卒業。(株)黒川玲建築設計事務所代表取締役。建築設計にとどまらず新潟県をはじめとする地域産業振興活動に力を注ぐなど、幅広く活動している。生活環境にかかわるモノ・コト・時間を総合的に捉え、企業や地域産業と生活者の接点の再開発を手がける。仕事分野は建築設計、地域開発、CI計画等多岐にわたる。1997年から(財)日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞審査委員。




●渡邊 真典(わたなべ・まさのり) 有限会社クロスエッジ 代表取締役

1960年北海道生まれ。大学卒業後、多くの雑誌・書籍の編集制作に携わる。1995～2003年の9年間にわたり、インテリア誌『beSure』の編集長を務める。2003年有限会社クロスエッジ設立。同時に日本各地の伝統工芸をベースとしたオリジナルブランド「YOnoB」を立ち上げ、インテリアグッズを中心に製作・販売している。ショップ・メーカーの商品プロデュース、カタログ制作など、幅広く活躍している。




●赤瀬 浩成(あかせ・ひろしげ) メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 代表取締役

1964年生まれ。1991年、株式会社アカセ木工へ入社し、家具製造・卸業、システム家具製造、特注家具製造に従事。1996年に同社の代表取締役に就任。小売部門立ち上げなどにも従事する。2006年、同社の代表取締役会長に就任。2005年7月、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社設立し、日本のモノづくりの継承と発展の為に、流通をおとして新たな日本製の可能性を見出すプロジェクトを推進。FLAG SHOP として東京ミッドタウンに「THE COVER NIPPON」を運営している。






●塚本 カナエ(つかもと・かなえ) Kanae Design Labo 代表

(株)三菱電機、(株)デザイン総研広島勤務後、英国王立芸術学院(RCA)セラミックス&ガラス科大学院課程修了。修士号取得。ダーテントクリスタルLtd.、クイーンズベリー・ハント・レヴィンデザイン事務所(英国)を経て、98年よりフリーのプロダクトデザイナー活動開始。99年、Kanae Design Labo設立。現在に到る。「テーブルの上からその周辺へ」と言うアプローチでテーブルウェア、家具、照明器具、文具、家電製品、化粧品パッケージなどの日用品、インテリア内装までのデザインを行っている。金沢美術工芸大学非常勤講師。1997年英国王立芸術振興会主催デザインコンペ大賞受賞、2009年、Gマーク受賞。2010年、独・レッドドット賞受賞。



実践コース・C

マーケティング力の強化

●馬場 了(ばば・さとる) 株式会社クルー 代表取締役

1948年生まれ。日本大学芸術学部美術学科工業デザイン卒。鈴木自動車工業(株)デザイン課勤務(現スズキ(株))、東京研究所にて新商品開発デザインに従事する。その後独立、デザインオフィス・クルー創業、1982年(株)クルー設立。代表取締役となる。(財)日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞審査委員、日本大学芸術学部デザイン学科講師、中小企業大学校東京校・三条校・旭川校講師(企画・デザイン)、全国の公設試験場の商品開発研修と企業の商品開発マネージメント・コンサルティングのほかマーケティングやデザイン開発を多数手がけている。

●土屋 豊(つちや・ゆたか) ラポール 代表

1953年生まれ。長野県出身。中央大学商学部卒。大学卒業後、親戚が経営するファッション雑貨専門店に入社し、帽子、傘、毛皮等の身の廻り雑貨の販売を経験する。1981年5月から2010年3月まで株式会社ボンヴェキオホツタに勤務。その間、営業、商品開発、マーケティング、新規事業、社内研修等、全般にわたってブランド構築に関わる。特に時代感度を敏感に捉えるマーケティング業務の可能性に着目し、日本では遅れをとっているVMD(ビジュアルマーチャンダイジング)にフォーカスした新事業を2010年4月よりフリーで開始する。

やまなしモノづくりデザイン塾2010

参加申込書

- 「やまなしモノづくりデザイン塾」の受講を希望される方は、下記申し込み用紙にご記入のうえFAXにてお申し込みください。同様の内容を記載したメールでのお申し込みも受け付けます。
- 受講料は各コースとも5日間で3,000円となります。
- お申し込みについては、平成22年 **9月28日(火)** より先着順に受け付けし、各コースとも定員に達し次第終了させていただきます。(※定員に達しない場合は、各コースの開始3日前まで受け付けを行います。募集状況につきましてはホームページをご確認ください)
- 受け付け後、折り返し[申し込み確認書]をFAXまたはメールで送信いたします。
- また、受講料支払いの案内[納入通知書]は別途郵送いたします。

参加希望 コース	<input type="checkbox"/> 【実践コース・A】 企画発想力の強化 平成22年10月15日(金)～11月5日(金) 受講料：3,000円 [定員：20名]			
	<input type="checkbox"/> 【実践コース・B】 地域ブランド力の強化 平成22年11月18日(木)～平成23年1月13日(木) 受講料：3,000円 [定員：20名]			
	<input type="checkbox"/> 【実践コース・C】 マーケティング力の強化 平成23年1月25日(火)～2月23日(水) 受講料：3,000円 [定員：20名]			
業 種				
企 業 名				
受 講 者	役職または職種		氏 名	
住 所	〒			
連 絡 先	Telephone :	Facsimile :		
	E-mail :	[連絡事項は、 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FAX で送信希望] ※希望する連絡方法にチェックしてください。		
備 考				

お申し込み先

FAX送信先

055-243-6102

mail

dc@yitc.go.jp

山梨県工業技術センター・デザイン技術部 TEL:055-243-6101 〒400-0055 甲府市大津町2094

- 山梨県デザインセンターHP : http://www.pref.yamanashi.jp/yitc/DCWeb/DC_site/DesignCenterHome.html
- 山梨県工業技術センターHP : <http://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>